



ISM研究会のお知らせ

File Edit Data

Help



日時

場所

11月12日

14時30分

立教大学5号館

院生控室 教室

テキスト/テーマ

『市場競争から見た知的所有権』

編者/著者

富田徹男

出版社

ダイヤモンド社

範囲

全部



後半期 第3回/通算 第77回

ご案内-詳細

今回は『市場競争から見た知的所有権』（富田徹男著、ダイヤモンド社、1993年、1600円）を検討します。

この本を検討する眼目は、ビジネスモデル特許に象徴されるようなプロパテントの（特許を讃美する）立場と、その陰に隠れてはいるが依然として産業の深部において強い影響をもっているアンチパテント（特許を罵倒する）の立場との対抗の流れを理論的に位置付けることにあります。

報告者

人名	割当
今井 祐之・	第1,2章
窪西 保人・	第7,10,終章

出欠

- 出席
- 欠席

OK

Cancel

Replace

今回は『市場競争から見た知的所有権』(富田徹男著,ダイヤモンド社,1993年,1600円)を検討します。

参加者の希望でビジネスモデル特許を検討することになりましたが,調べたところ,ビジネスモデル特許に関する書物のほとんどは,なんの内容もない実務本ばかりであって,そもそも特許権は正当か不当かなどという根本問題さえ無視しています。少なくとも日本の本は,このような根本問題にほんの僅かでも触れているとしても,せいぜい,アメリカのプロパテント政策に惨めったらしい泣き言を言うくらいのものです。

さて,この本を検討する眼目は,ビジネスモデル特許に象徴されるようなプロパテント(特許を讃美する)立場と,その陰に隠れてはいるが依然として産業の深部において強い影響をもっているアンチパテント(特許を罵倒する)立場との対抗の流れを理論的に位置付けることにあります。しかも,後述するように,本書は入手が困難です。そこで,本署の全体を検討するのではなく,本書の中で,今後ビジネスモデル特許を検討する際に必要な部分だけを検討していきます。それでは,本書の目次を以下に掲げておきます。

- 第1章 知的所有権とは
- 第2章 知的所有権制度
- 第3章 歴史的価値観と基本的な法制〔省略〕
- 第4章 知的所有権制度の確立〔省略〕
- 第5章 国際カルテルの時代〔省略〕
- 第6章 自由主義経済とアンチパテント〔省略〕
- 第7章 プロパテントの流れ
- 第8章 第二次対戦と日本〔省略〕
- 第9章 知的所有権から見た日本の産業〔省略〕
- 第10章 知的所有権は誰に帰属するか
- 終章 知的所有権と産業社会

目次からわかるように,かなり歴史的な話とか地域的な話とかが多く混ざっています。また,本書の細かい記述には,いろいろと不正確な点があります。けれども,そういう歴史的な話,地域的な話,細かい点にはあまりこだわらずに,現代社会にとっての特許の意義を中心に議論を進める予定です。

今回の範囲について言うと,第1章は,知的所有権の経済的な背景と法的な正当化論拠とを論じています。第2章は,現代日本で知的所有権が実現されている様々な法制度的な形態(特許制度など)を論じています。第7章は,現在アメリカが産業政策的に採用しており,またビジネスモデル特許の推進力になっている(レーガン以後の)プロパテントの流れを検討しています。第10章は,知的所有の対象が従業員のものか,それとも会社のものかという問題を検討しています。終章は,産業政策上での知的所有権の役割を総括しています。

なお,Web上で検索したところ,本書は出版元では在庫切れであることを確認しました。従って,書店への予約は無意味であって,書店での店頭在庫に頼ることになります。紀伊国屋の新宿本店,新宿南口店などでは在庫があることをWeb上,また店頭で確認しております。ご依頼があれば,今井が紀伊国屋で購買して郵送いたします(書籍代および郵送料はご本人負担といたします)。また,希望者の方にはコピーを郵送いたします(コピー代および郵送料はご本人負担といたします)。書籍あるいはコピーの郵送を依頼する方は,恐れ入りますが,**11月07日(火)までに**今井のところまでお申し付けください。